

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成21年10月

(平成21年9月末調査)

平成21年10月26日  
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫**  
**経営相談室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>  
TEL 0266 (23) 4567  
FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【8月】	諏訪公共職業安定所管内	0.40倍	△0.84ポイント
手形交換高【9月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,913枚	△4,394枚
	金 額	8,745百万円	△8,124百万円
	うち不渡り	2枚	△7枚
	発生状況	1,550千円	△3,461千円
電力使用量【9月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	43,379 MWh	△2.8%
	高圧電力計	97,985 MWh	△12.4%
	合 計	141,364 MWh	△9.6%
車庫証明取扱件数【9月】(諏訪地方合計)		1,083件	△9.4%
新設住宅着工件数【21年4月～8月】(諏訪管内)		532戸	△24.3%

□本文は、当金庫取引先約120社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

### ●製造業

自動車部品の下請企業の受注は、加工部品により繁閑が区々であるがハイブリット車やエコカー関連では繁忙の企業がみられる。工作機械・専用機の総体の受注は自動車やその他の産業向けともに低水準で推移しており、少ない新規案件の受注では価格競争が激しくなっている。デジタルカメラ関連企業の受注は、親会社により増減が区々となっている。

地域製造業の9月の受注状況は、稼働日数の少なかった8月に比べ10～20%程度増加しているものの、前年同月比では依然として20～50%程度減少したまま推移している企業が多い。

また、円高の進展も含め、今後の見通しには慎重な見方をしている企業が多い。

### ●商業

諏訪地方の9月の天候は、秋雨前線や台風の影響がほとんど無く少雨多照となった。

シルバーウィークの効果から来店客数が増加したとする店舗もあるが、総じて顧客の消費マインドは低下したまま推移している。

衣料関連は低価格品や実用衣料には一定の動きがあるものの、秋物衣料や身の回り品の動きは低調であり、食料品では来店客数は維持しているものの、買上点数と商品単価の低下から売上高は前年を幾分下回った店舗が多い。

薄型テレビや環境対応車は、エコポイントやエコカー減税等の政策効果により一定の動きがみられる。

## ●観光業

例年9月は夏と秋の観光シーズンの移行期で低調な時期となるが、今年はシルバーウィークとして5連休があったことから各観光地とも入り込み客数は前年に比べ増加した。なかでも、高原の観光地ではゴールデンウィークや夏休み期間を上回る集客が図れた施設もあった。

上諏訪温泉のホテル旅館は新作花火大会やシルバーウィーク中は満館となったところが多く、その他の観光地のホテル旅館の宿泊者数も前年比10~20%増加したところが多いが、ETC休日割引やシルバーウィークの影響から平日の宿泊客が伸び悩んだとする声がきかれる。

景気の低迷を受け、企業の忘新年会の減少が危惧されることから各施設ともサービス内容の充実や早期予約特典などの企画を進めている。

## ●建設業

市町村の9月の発注工事は、建築工事6件269百万円、土木工事・下水道工事57件277百万円、その他工事20件102百万円の合計83件648百万円で、前年同月比で件数は△1件減少したものの発注金額は270百万円の増加となった。

県関係の9月の公共工事（地元業者受注分）は32件920百万円で、平成21年4月~9月の累計契約は79件2,032百万円と前年同期累計比では件数は△9件減少、契約額は△341百万円の減少となっている。諏訪市の「平成21年8・8局地豪雨災害」等に係る激甚災害及び災害復興工事等の契約により、9月の契約金額は前年同月比+368百万円の増加となった。

民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工件数は87戸で前年同月比では△26戸（△23.0%）の減少となった。利用関係別では、「持家」が前年同月比△13戸減少の58戸、「貸家」が前年同月比△15戸減少の26戸、「分譲」が前年同月比+2戸増加の3戸となっている。

## ●雇用

諏訪地域の8月の有効求人倍率は、前年同月を0.84ポイント下回り0.40倍と対前年比で23ヶ月連続して低下している。また、長野県の同倍率は0.38倍と全国平均の0.42倍を8ヶ月連続して下回っている。なお、長野県の同倍率0.38倍は1963年1月の統計開始以来の最低値となった。

諏訪地域の8月の新規求人（全数）は802人で前年同月比△461人（△36.5%）の減少、新規求職者数は840人で前年同月比+139人（+19.8%）の増加となっている。新規求人数は、地域の主力産業である製造業全体で150名と対前年同月比△152人（△50.3%）の減少となっている。

また、1件10人以上の人員整理は2件58人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は129人と前年同月より45人増加、前月より69人減少となった。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	企業により区々であるが、自動車やデジタル家電向けで受注が増加している企業がみられる。
コンデンサー	受注は低調に推移している。
プリンター	大型プリンターは弱含みの推移であるが、アジア向けのサーマルプリンターに動きがみられる。
コンタクター・リレー	受注状況は安定している。

### 2. 輸送用機械

自動車	加工部品により繁閑が区々であるが、ハイブリット車やエコカー関連では繁忙の企業が多くみられる。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は幾分回復傾向であるが、先行きは慎重な見方となっている。
船外機	欧米や新興国の需要が回復しておらず、受注は弱含みで推移している。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	総体の受注は低水準で推移しており、少ない新規案件では受注価格の競争が激しくなっている。
搬送用機械	製造業向けの受注は弱含んでいるが、食品関連や物流関連に動きがみられる。
金型	医療機器向けで堅調な企業がみられるが、総体的には低調に推移している。
ダイカスト	自動車関連向けは低調なまま推移している。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの8月の生産台数は907万台で前月比14.1%増、前年同月比△7.1%減少となっている。8月の出荷台数は国内出荷92万台、海外出荷876万台で、出荷台数全体では前月比23.3%増加、前年同月比△0.7%減少となっている。(カメラ映像機器工業会) 地元業者の受注は、親会社により増減が区々となっている。
プロジェクター レンズ	国内は試作が中心となっている。 受注は弱含みで推移している。

## 5. 織 維

ニット

冬物生産のピークであり、受注は例年並みの水準となっている。小売段階では、安値の海外生産品が主流ではあるが、一部では国内生産の高級品が見直されている。

## 6. 食 品

寒天

問屋向けの荷動きは堅調であり、一般向けでは道の駅等での売れ行きが伸びた。

味噌

家庭向けの出荷は堅調に推移している。

## 7. 製 材

諏訪地方の8月の木造住宅着工件数は80戸で、前年同月と比べ±0戸の同数となったものの、木材・建材ともに動きは弱含んでいる。

## 8. 建 設

公共工事

9月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所13件、林道治山工事関係12件、農地整備課7件の合計32件、契約金額920百万円となっている。平成21年4月～9月の累計契約は79件2,032百万円と前年同期累計比で件数は△9件減少、契約額は△341百万円の減少となっている。諏訪市の「平成21年8・8局地豪雨災害」等に係る激甚災害及び災害復興工事等の契約により、9月の契約金額は前年同月比+368百万円の増加となった。

市町村の9月の発注工事は、建築工事6件269百万円、土木工事・下水道工事57件277百万円、その他工事20件102百万円の合計83件648百万円で、前年同月比で件数は△1件減少したものの発注金額は270百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の8月の新設住宅着工件数は87戸で前年同月比では△26戸（△23.0%）の減少となった。利用関係別では、「持家」が前年同月比△13戸減少の58戸、「貸家」が前年同月比△15戸減少の26戸、「分譲」が前年同月比+2戸増加の3戸となっている。

なお、長野県全体の8月の新設住宅着工戸数は912戸で、前年同月比△37.4%の減少と9ヶ月連続で減少している。

## 9. 商業

諏訪地方の9月の天候は、秋雨前線や台風の影響がほとんど無く少雨多照となった。

シルバーウィークの効果から来店客数が増加したとする店舗もあるが、総じて顧客の消費マインドは低下したまま推移している。また、エコポイントやエコカー減税等の政策効果により薄型テレビや環境対応車などに一定の動きがみられるものの、衣料や食料品では価格競争が激しくなっており売上の減少傾向が続いている。

衣料	低価格衣料や実用衣料には一定の動きがあるものの、総体での秋物衣料や身の回り品の動きは低調である。
食料品	来店客数は維持している店舗が多いものの、買上点数と商品単価の低下から売上高は前年を幾分下回った店舗が多い。少雨の影響から地場のきのこ類は不作となった。
家電製品	エコポイント効果から薄型テレビの動きは引き続き堅調であり、運動会にあわせデジタルカメラ等にも動きがみられた。
自動車	諏訪地域の9月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,083台で前年同月比△112台（△9.4%）と、減税等の政策効果はみられるものの前月より幾分マイナス幅が拡大した。
ホームセンター	連休効果等から園芸用品やレジャー用品の動きが好調であった。

## 10. 観光

例年9月は夏と秋の観光シーズンの移行期で低調な時期となるが、今年はシルバーウィークとして5連休があったことから各観光地とも入り込み客数は前年に比べ増加した。なかでも、高原の観光地ではゴールデンウィークや夏休み期間を上回る集客が図れた施設もあった。

また、各ホテル旅館の宿泊者数も前年比10～20%程度増加したところが多いが、E T C休日割引やシルバーウィークの影響から平日の宿泊客が伸び悩んだとする声がきかれる。

景気の低迷を受け、企業の忘新年会の減少が危惧されることから各施設ともサービス内容の充実や早期予約特典などの企画を進めている。

上諏訪温泉	新作花火大会やシルバーウィーク中は満館となったホテル旅館が多く、前年同月比の宿泊客数は総体では10%程度の増加となった。
蓼科・白樺湖・ 車山方面	シルバーウィークの効果から、観光施設の入り込み客数やホテル旅館の宿泊客数は前年を大きく上回った。施設によっては、ゴールデンウィークや夏休み期間を上回るところもみられた。
下諏訪温泉	ホテル旅館により区々であるが、宿泊者数は前年並みのところが多い。
諏訪大社	上社・下社を合わせた9月の参拝者数は約50千人と、E T C休日割引とシルバーウィークの効果から前年同月比約9千人の増加となった。